

神戸大学と

Across the Boundaries

No.4

神戸大学のメタモルフォーゼを伝えるメディア

わたし

「大阪湾」を知り尽した海のプロが 海上物流の大動脈を支える。



「社会に貢献する神戸大学」パイロット

港湾の安全を担う水先人の養成 大阪湾水先区水先人会・竹口信和会長に聞く

なぜ水先人になろうと思ったのか？ 神戸大学三級水先人養成課程第一期修業生・篠崎啓一さんに聞く

「ボランティア活動レポート」のびやかスペースあーち」ボランティア 神戸大学水先人養成課程の概要 / 大学院海事科学研究科・林祐司教授

「天阪湾」を知り尽した海のプロが 海上物流の大動脈を支える。

「水先人」は港湾に入出港する大型船舶を安全に誘導する職業であり、「水先法」という法律によって定められた国家資格だ。2007年4月の改定水先法施行に伴い、全国3養成施設の第一号として神戸大学大学院海事科学研究科内に「水先人養成課程」が設置され、学生からダイレクトに「三級水先人」になれるチャンスがやってきた。従来は長年の外国航路船長としての経験を必要とする極めて狭き門だった水先人への道が今若者にも開かれようとしている。本号では、この新しい職業機会の詳細を探ってみる。

●世界につながる物流拠点

神戸大学六甲台キャンパスの百年記念館から一望できる大阪湾は日本の物流を支える大動脈だ。眼下に広がる港と工業地帯は、大阪湾を介して世界とつながっている。

四方を海に囲まれた日本の国際物流の主役は、今なお海上輸送である。日本の全輸出入に対する海上輸送の占める割合は、重量ベースで99%以上、金額ベースでも74%に達している。中でも神戸港・大阪港を中心とする阪神港の果たす役割は大きく、神戸港は輸出入の21・2%（金額ベース、以下同じ）、輸入の13・0%、大阪港が輸出の7・7%、輸入の14・7%を占め、東京湾圏内に次ぐ大きな規模となっている（財務省「物流動向調査」平成20年9月実施分）。

●港湾の安全と効率を支える水先人

水先人会は、その巨大な物流の安全と効率的運用を支えるためになくてはならない存在だ。水先人は、湾内の港に寄港する大型船舶が、安全かつ効率よく湾内を航行し、事故なく入

港・着岸あるいは離岸・出航できるよう、実際に船舶に乗船して船長に操船のアドバイスをする海のプロフェッショナルだ。

竹口さんは、神戸商船大学を卒業後、外国航路の船長として長年経験を積み、56歳で退職して水先人の道に入った。

日本では、水先人の資格や職務は「水先法」という法律によって定められ、弁護士や医師と同様、国から免許を受けた者が従事できる国家資格となっている。免許は全国35ある大小さまざまな水先区ごとに与えられ、国土交通省に登録し各水先区に入会して業務を行う。

「私たちが若い頃は、海外に行く機会などめったになくて、外国航路の船員になるのは若者の夢だった」と、竹口さんは水先人となるに至った経歴を語る。

京都の街中で海とは縁なく育った竹口さんだが、海に憧れて神戸商船大学に進学。大手海運会社に就職して、その夢を実現した。

「当初、三等航海士として乗船したのは1万トンぐらいの貨物船です。その後、二等航海士、

一等航海士、船長とキャリアが上がるのと並行して、新造船もどんどん大きくなり、船長になってからは、26万トンのタンカーでアラビア湾の石油をヨーロッパへ運びました」

竹口さんにとって残念なのは、70年代の二度の石油危機や85年のプラザ合意後の円高が原因で、パナマ船籍やリベリア船籍など外国籍の船（便宜置籍船）の比率が大幅に増え、次の世代の日本人船長を十分に育てられなかったことだ。今、そのつげが日本の海運や港湾行政、水先人会にも回ってきていて、人材の育成が火急の課題となっている。

●若者にチャンス広がる 水先人の仕事

2007年に水先法と関連法令が改正施行され、水先人資格に級別制度が採用されて、若い人が、三級から二級、一級へと水先人の仕事をしながらステップアップできる仕組みが整えられた。だが、新しい制度はまだ端緒にいたばかり。外国人船長に信頼されるパイロットになるには、豊富な乗船実績が今も欠かせない。

大阪湾水先区は、東京湾水先区や伊勢三河湾水先区と並んで、湾内の水域全体が「強制水先区」に指定されていて、1万総トン以上の船舶は、一部の免除船を除いて、入出港の際に水先人を乗船させることが義務付けられている。

年間およそ2万6千件、一日平均70件あまりの水先業務（2008年実績）を担っている大阪湾水先区水先人会には、現在103



大阪湾水先区水先人協会会長
竹口信和（たけぐち・のぶかず）

1943年生、京都市出身。1967年、神戸商船大学卒業後、日本郵船株式会社入社。外国航路の三等航海士、二等航海士、一等航海士、船長としてキャリアを重ね、東京・アメリカ、神戸でのオフィス勤務をほさみ、延べ15年近く乗船勤務を経験する。2000年、日本郵船株式会社退社。水先人免許取得、水先修業を経て水先人開業。2010年5月、大阪湾水先区水先人協会会長就任。

●大阪湾水先区



●パイロットボート



名の水先人が所属している。その内19名は2007年にスタートした新制度の水先修業を経て一級水先人の資格を習得した水先人だ。2007年の新制度実施以前には、大阪湾水先区と阪神港水先区が別の水先区だったため、その境界で水先人が交代する必要があった。今では、ほとんどの水先人が新一級免許への書き換えを終えて、水域を通して水先業務を行うことが可能となっている。

水先人は各々が個人事業主なので定年退職はないが、会則では72歳になる前日までと決まっている。現在、最年少は49歳、最高齢は71歳。毎年、握力や視力の健康検査があり、みな、体力の維持と健康管理は欠かせない。

●水先人の仕事はハード

大阪湾に入ってくる大型船の多くは早朝に入港し夕方に出航する。水先人会への水先

請は乗船予定の24時間以上前と定められているので、乗船の前日には船会社や代理店あるいは船舶から連絡が次々と水先人会に入り、乗船可能な水先人に割り振られる。

紀伊水道から入港する船舶の場合、水先人の乗船場所は友ヶ島水道南7マイル地点の海上だ。早朝入港の場合は、前日にバスまたは大阪湾を出る船の水先業務で淡路島の洲本まで行き、洲本に設置されている待機所で仮眠して2時に起床、3時にパイロットボートで出発し、4時に要請のあった入航船舶と海上で合流。船舶の風下側に垂らされたパイロットラダーと呼ばれる9メートルの縄梯子を伝って乗船する。

大型船舶の船長は航空機の機長とは違い、自ら操船することはない。航長や航海士に進路や速度を指示し、船長を含めた乗組員が船を動かす。水先人も、乗船したらブリッジで船長の隣に立ち、船長のアドバイザーとして、船長の責任と承認の下に、乗組員に直接指示を出す。

乗船地点の友ヶ島水道南方から阪神港外までの全行程がおよそ30マイル（56km弱）あり、12ノット（マイル/時）以上の速度で航行して、およそ2時間で港外に到着。港内に入ればタグボートなどと無線で細かく連絡を取り合いながら約1時間かけて接岸する。その後船長と接拶を交わして下船し、水先人会の事務所まで戻り、朝8時頃に仕事が終わる。

出港の場合は、入港とは逆に、夕方に岸壁から乗船し、友ヶ島水道の下船場所まで水先業務を行う。そこで迎えに来たパイロットボートに乗り移り洲本の待機所に帰着。通常は、そのまま仮眠して翌朝の入港船の水先業務に従事する。

●漁法にも精通している必要がある
「船長としても、水先人としても、もつとも大事なものは見張りです」と、竹口さんは断言する。

大阪湾内は行き交う船舶が多いだけでなく、湾そのものが豊富な水産資源に恵まれた歴史ある漁場だ。季節によっては無数の漁船が航路上で操業している。漁船の動きは漁法によって動きも異なり、パッチ網漁と呼ばれる大阪湾特有の漁法では、2隻の漁船で後ろに長く網を引く。どの船とどの船がペアを組み、網の最後尾はどこか、遠くから確実に見極め、適切な進路を取らなければならない。

「無事に水先業務を完了し、船長から感謝され、Good job!と握手を求められると、いつもながら肩の荷が下りてほっとする」と、竹口さんは言う。「大型船の操船の一番大変で面白いところを船長に代わってやらせてもらえるところが、水先人の仕事の醍醐味」でもある。

●国際コンテナ戦略港湾への挑戦
神戸港と大阪港は、神戸港から堺泉北港までの一体的な運用を前提として「阪神港」という名称で呼ばれるようになっていた。昨年8月には、京浜港（東京港、横浜港）とともに、政府が重点的に整備する「国際コンテナ戦略港湾」に選定された。

阪神港がかつてのアジアの国際ハブ港の地位を取り戻せば、大阪湾に入航する船舶もさらに大幅に増加する。

「水先人会としては、入出港船がいくら増えても大丈夫」と、竹口さんは自信を持って言う。水先人それぞれ経歴は違っても、海の仲間の結束は固い。100名以上のベテラン船長を擁する大阪湾水先人会は、一丸となって大阪湾の安全航行と阪神港の機能向上に貢献している。

三級水先人養成課程は、「見果てぬ夢」を実現するための道だから。

●三級水先人

篠崎さんは2006年に改正され翌年4月に施行された改定「水先法」による「三級水先人」修業生の第一期生だ。

財団法人海技振興センターを窓口にして全国で募集された第一期25名の三級水先人養成枠のうち、篠崎さんを含めた6名が大阪湾水先区への登録を目指している。その全員が神戸大学大学院海事科学研究科の修士課程を昨年9月に修了し、10月から水先人養成課程の最終段階となる6か月間の水先現場実習を受けてきた。つこう2年半にわたる養成課程が3月末に無事に修了すれば、晴れて三級水先人の国家試験受験資格が得られ、さらに5月の国家試験に合格すれば水先人としてのデビューが可能になる。

●夢の制度

篠崎さんは神戸商船大学を卒業後内航フェリーの航海士として船乗りの道に進んだ。その篠崎さんにとって、新しく始まった三級水先人養成制度は夢のような制度だ。

篠崎さんは、外国航路の船乗りへの道を志して、国立富山商船高等専門学校（現・富山高専）に進学した。乗船実習を含めて5年半の高専課程を卒業し、三級海技士（航海）の資格を取得した後、さらにステップアップを図るために神戸商船大学へと進学した。ところが、時代の変化は篠崎さんを待つてはくれない。高専卒業時も、商船大卒業時も、外国航路はリベリア籍やパナマ籍など外国人乗組員が乗船できる外国籍の船（便宜置籍船）が全盛で、日本人にとって外国航路への道はとて狭い門となっていたのである。

「海を諦めて陸の仕事を選んだ同期生も多
く、内航フェリーに乗務できた私は幸運だっ
たかも知れませんが。でも、何かふつきれない
気持ちをずっと抱えたままでした」

そんな篠崎さんにとって、当時、水先人という職業は、外航船の船長として実績を積んだ人だけがなれる「雲の上の職業」で「夢のまた夢」だった。

ところが2007年4月新制度が実施されて、「水先人」の夢が一躍実現可能な夢へと近づいたのである。

●かなりハード

三級水先人の養成課程は、航海、運用、法規や英語などの座学が9か月半、操船シミュレーターを使った操船実習が6か月、商船等での船上訓練が4か月、タグボート乗船訓練が半月、水先人に帯同されての水先現場訓練が10か月、合計で2年6か月の課程と定められている。さらに養成課程の科目に加えて、修士課程修了に必要な単位も履修する。10か月の水先現場訓練の内、前半の4か月の訓練には大学の春休みと夏休みが当てられた。

夢のまた夢を現実のものにするのは、やはりそう簡単ではない。

●信頼されること

外航船船を操船する夢がかなうと思うと、「正直なところ不安も一杯」と、篠崎さんは言う。

海上勤務の実績がない人を教育によって一から水先人として養成する制度は、現在、日本だけで実施されている。たとえ日本の国内法で資格を満たして水先人になったとしても、水先業務を要請する外国船の船長が信頼して

操船を任せてくれるかどうかは全く別の問題だ。

「水先業務が無事に終わり、相手の船長から『Good job!』と感謝の握手を求められて初めて合格だ」と、竹口会長からいつも言われている。

そのためには、水先水域内だけでも外国船の船長たちに負けないだけの知識と経験を積む必要がある。

新しい水先法では、三級水先人がキャリアを積んで、二級水先人、一級水先人へとステップアップすることができる。三級水先人養成は、一級水先人への修業の第一歩。篠崎さんたちの水先人修業は始まったばかりだ。

篠崎啓二 (しのざき けいじ)

1978年生、富山県黒部市出身。2000年、富山商船高等専門学校卒業。2001年、神戸商船大学二年次編入学。2003年、神戸商船大学卒業、新日本海フェリー株式会社入社。2008年、神戸大学大学院海事科学研究科入学（水先人養成課程）。2010年、同博士前期課程修了。2011年3月まで、科目等履修生として水先実習コースを受講中。一級海技士（航海）。



●練習船「深江丸」

パイロット どうすれば「水先人」になれるのか？



●操船シミュレーター

●20代半ばで「三級水先人」になれる

Q 2007年の4月に新しい「水先法」が施行されましたが、従来と大きく変わったのは何ですか？

A 水先資格への等級制の導入です。以前の制度では、一級海技士（航海）の資格を持ち、総トン数3000トン以上の船舶の船長を3年以上務めた人にしか、水先人の国家試験受験資格がありませんでした。これは、事実上、海運会社に船長として長年勤めたあとに、例えば50歳代になって初めて水先人になれることを意味していました。新制度では、船長経験がなくても早ければ20歳代で三級水先人になることができ、その後二級、一級と資格をステップアップしていけるようになりました。

Q 水先法が改定された背景は何だったのですか？

A 水先人の全般的な高齢化と後継者の減少が予測されるため、若い人材を確保することが制度の根幹です。欧米では先行して実施されていた政策ですが、日本では「ヤングパイロット構想」の延長上に

2005年ごろから具体化し、2006年に水先法が改正され、翌年に施行されました。

Q 水先区と水先人の全国的な配置はどうかっているのですか？

A 全国には35の水先区があり、全体でおよそ660人の水先人が働いています。そのうち、大阪湾水先区には103名の水先人が所属しています。大阪湾水先区を含めた、東京湾、伊勢三河湾、内海（瀬戸内海）、関門の5つの水先区は「五大水先区」と呼ばれ、日本と世界とを結ぶ海運の大動脈となっています。そのため、港湾の安全かつ効率的な運用を確保するためにも水先人の育成と安定供給が不可欠となっているのです。

Q 神戸大学で水先人になるには——では神戸大学で水先人になるには、どういう課程を履修する必要がありますか？

A 現在全国には3つの水先人養成施設が設置され、神戸大学はその第1号となりました。これら養成施設では、三級から一級までの水先人国家試験受験資格を取得することができるのですが、ここでは神戸大学の三級水先人課程について述べます。三級水先人を目指す場合、前提条件として三級海技士（航海）以上の資格が必要です。そのため、総トン数1000トン以上の船舶による1年以上の乗船実習を経験する必要があります。神戸大学の場合、海事科学部を卒業して6ヶ月の乗船実習を終えれば、これらの条件をクリアできます。

さらにその上で、大学院海事科学研究科に入學し博士前期課程を修了しなければなりません。

この課程を含めた2年6ヶ月の三級水先人養成課程を修了すれば、三級水先人国家試験の受験資格が与えられます。

Q 具体的にはどのような学習や実習をするのですか？

A 養成課程のカリキュラムは、座学・操船シミュレータ実習・商船等乗船実習・タグボート乗船実習・水先現場実習に分かれています。中でも特徴的なのは、操船シミュレータ実習と水先現場実習です。

本学養成施設に設置された操船シミュレータは、全国35水先区に対応した景観データベースと巨大なスクリーンを備え、ベテランの水先人をインストラクターとする、現場に即した操船シミュレータ実習が可能となっています。また、水先現場実習は全体を5つのステージに分割して実施され、2年6ヶ月の間に必要な課程を修了できるようカリキュラムが組まれています。

Q まもなく第1期の三級水先人が誕生 国家試験に合格したあとは？

A 三級水先人は総トン数2万トンまでの船舶の水先業務が可能となっており、先ほど述べた五大水先区のみで求人が行われています。そのため、三級水先人は、(財)海技振興センターのセレクトションによって、どの水先区に所属するかをあらかじめ指定されています。国家試験

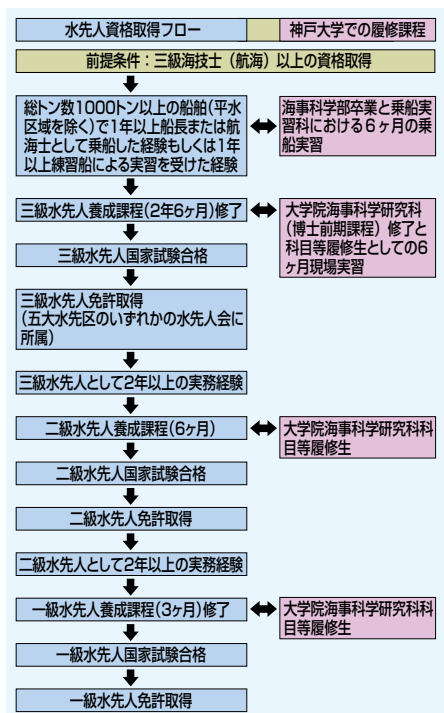
に合格すれば、該当する水先区の水先人会に所属して水先人としての活動を開始することになります。

しかし、直ちに自立して活動することは困難です。そのため、所属する水先人会の指導の下に一定期間同行訓練を続けることになります。

こうして三級水先人として2年以上の実務経験を積めば、次は二級水先人養成課程（6ヶ月間）に進むことができます。この課程を修了し、二級水先人国家試験に合格すれば二級水先人（総トン数5万トンまでの船舶の水先業務可能）となります。

さらに、二級水先人として2年以上の実務経験を積み、一級水先人養成課程（3ヶ月）を修了し、一級水先人国家試験に合格すれば、総トン数無制限の船舶の水先業務が可能になります。

●神戸大学の水先人養成課程では、2011年3月に三級水先人養成課程の第1期生が全課程を修了し、国家試験受験資格を取得しました。その後、遅滞なく実施される国家試験（年3回実施）の合格を経て、日本で最初の三級水先人が誕生します。



●神戸大学の水先人養成課程

「のびやかスペースあーち」ボランティア

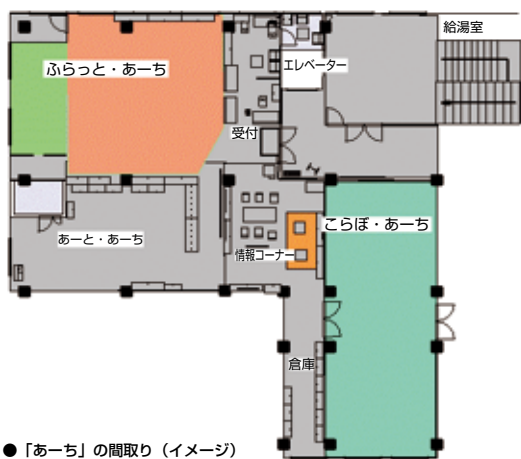
「のびやかスペースあーち」は、ヒューマン・コミュニティ創成研究センター（HCセンター）のサテライト施設として2005年9月、旧灘区役所跡地に開設され、子育て支援を核とする「共生の街づくり」の拠点となることを目指している。地域に根ざした「あーち」の活動は、二つの部門で構成されるボランティアに支えられている。

稲垣里奈

子ども・家庭支援部門・発達科学部4回生

高橋眞琴

障害共生支援部門・人間発達環境学研究所博士課程後期課程



●「あーち」の間取り（イメージ）

◎「あーち」のボランティア活動

「あーち」のスペースは、「ふらっと」、「あーと」、「こらぼ」、そして情報コーナーの4つに分かれている。これは「あーち」のコンセプトと密接に関連しており、子育てにかかわる地域の人々が誰でも気軽に（ふらっと）訪れることができ、自己表現（あーと）を通じた他者とのふれあいができ、さらに他者との交流がネットワークへと発展（こらぼ）していくよう工夫されている。情報

コーナーを通じて他者の活動を知ること重要だ。

あーちのボランティアは、子ども・家庭支援部門と障害共生支援部門に分かれて、こうした空間に集う人々の交流を促進し、共生のコミュニティ作りに向けた動きを支援するために、さまざまな活動を展開している。

◎子ども・家庭支援部門

稲垣里奈さん（発達科学部4回生）は、子ども・家庭部門のボランティアを1回生のときから続けてきた。

子ども・家庭部門とは、地域の子育てに関わる人々、例えば親子が好きな時間にふらっと・あーちに来て、子どもと遊んだり、親同士で交流したりできる空間を作る。そのためボランティアは、積み木や絵本、おもちゃなどで子どもと遊んだり、見守ったり、あるいは保護者と話したりする。

「二人で子育てをしている親は、不安を感じや



●稲垣里奈さん

すいものですが、そんなとき親同士が交流できればいい安心できることもある」と、稲垣さんはあーちボランティアの役割を説明する。

例えば親同士が交流するためにはしばらく子どもと遊んでくれる人が必要になる。また、話し相手が必要なときもある。さらには、ベビーマッサージや布おむつ交流会などのプログラムを準備し運営するのもボランティアの役割だ。

◎保育士になりたい

稲垣さんがあーちのボランティアに参加したきっかけは、「乳幼児期の発達心理学を勉強する中で、実際の乳幼児はどんな姿をしているのだろうという疑問が湧いた」ことであった。

ところが、子どもたちと遊んでいるうちに、あーちという空間自体が自分にとって楽しいものとなっていた。さらに、お母さんたちと話をするうちに、ボランティアが地域に根ざしていることを実感するようになった。

「もつと言えば、相談員としてあーちに来ていた保育士さんの活躍がとてすてきに見えてきて、自分も保育士になりたいと思った」のである。しかし、発達科学部には保育士の履修コースは用意されていない。そこで稲垣さんは、必要な10科目と実技を独学で勉強し国家試験に見事合格した。こうして、稲垣さんは、卒業後に公立保育園の保育士となることが決まっている。

◎障害共生支援部門

高橋眞琴さんは、障害共生支援部門のボランティアとして活動しながら、大学院人間発達環境学研究所の博士課程後期課程に在籍し、重度の障害のある人と地域住民との関係形成について研究を続けている。特別支援学校の教員として働く社会人でもある。

高橋さんはもともとあーちの親子会員としてそ



●高橋眞琴さん

の活動に参加していた。そこで見聞きしたのは、実に感動的な光景であった。

そこには「子どもたちが障害のある、なしに関わらず楽しそうに生き生きと遊んでいる姿」があり、また驚くべきことに「重度障害の子どもとボランティアがプロレスごっこをして遊んでいる姿」があった。これらの光景は高橋さんのあーち体験の原点となった。

高橋さんは、その後、大学院人間発達環境学研究所に入学することになり、それをきっかけに2007年からあーちのボランティアを始めることとなった。

◎社会的な居場所を作る

障害のある子どもたちにとって、現状は、地域で活動する場が極めて少ないと、高橋さんは言う。「その点、あーちでは、学生ボランティアと地域住民がいっしょになって障害のある子どもたちの活動の場を支えている」。その意味で、あーちは、「先進的」な取り組みを実践しているというのである。

障害のある子どもたちの社会的な居場所を作ること、すなわち「居場所づくり」こそが障害共生支援部門ボランティアの目下の主要テーマであり、また高橋さんの研究テーマでもある。

高橋さんは、音楽、クッキング、造形、自由遊び、お出かけなど実に多彩なプログラムからなる活動に、折をみてボランティアとして取り組んでいる。

ききん・だより

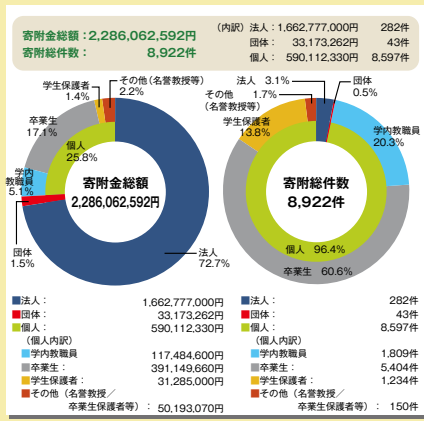
「神戸大学基金」、 大学ファミリアー感の醸成！

・課外活動・ボランティア活動の支援を開始します
「神戸大学基金」では、4月からボランティア活動を含む課外活動を支援します。在学生には現代時代から「大学ファミリアー」としての一体感を感じてもらいます。

「神戸大学基金」のただ今の募金状況はグラフのとおりです。ご協力いただいた皆様には厚くお礼申し上げます。

さて、昨年10月から展開を開始している事業「在学生の国際化対応」・「神戸大学東京オフィス整備」・「神戸大学基金奨学金創設」について、ほぼ予定どおり執行しています。①在学生の国際化対応では、協定校への海外派遣事業助成や海外外国語研修の助成、部局企画による留学・研修・海外ボランティア・インターンシップ等の制度設計を完了し、一部選考も終わっているところです。また、英語論文校正学会発表指導プログラム(KALCS)では、延べ320名の学生へのグループ指導や講演会「英語プレゼンテーションコンテスト」の実施など、在学生・教職員に好評を得ています。②首都圏における卒業生とのネットワークの強化を図るために、「神戸大学東京オフィス」は平成23年1月7日から、帝国劇場ビル地下1階

■図で見る神戸大学基金募金状況
(2011年(H23) 1.31 現在)



に整備・拡充してリニューアルいたしました。フロアも広くなり卒業生スタッフが常駐しています。東京へお越しの際はぜひお立ち寄り下さい。

③全学生を対象とした生活困窮学生への奨学金支援制度「神戸大学基金緊急奨学金」を開始し、数名の学生へ奨学金を支給しています。

また、新一年次生を対象とした優秀かつ生活困窮学生への奨学金支援「神戸大学基金奨学金」の制度設計を完了し、4月から募集を開始します。これからも、「神戸大学基金」は次代を担う後輩を支援します。彼らを巻き込んだ「神戸大学ファミリアー」感を醸成するためにも、本学のご卒業生をはじめ、保護者の皆様、応援していただける個人・法人・団体の皆様からのご支援をぜひとも「神戸大学基金」へお寄せ下さいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

■ご寄附いただく方法

【個人のみならず】
平成22年分からの、所得税法上の特別優遇措置として、適用下限額が現行の5千円から2千円に引き下げられ、より一層ご寄附をしていただきやすい環境になりました。

お名前・住所・電話番号を下記の基金推進室までお知らせください。折り返し、払込取扱票一式をお送りしますので、銀行または郵便局からお振込みください。詳しくは左記のサイトを参照してください。

<http://www.kobe-u.ac.jp/kobekirin/general.htm>

【法人のみならず】
所定の寄附申込書に必要事項をご記入の上、左記基金推進室まで郵送ください。折り返し、振込依頼書をお送りします。寄附申込書は、基金推進室に法人名・住所・電話番号をお知らせいただければ送付します。あるいは左記のサイトから書式をダウンロードすることもできます。

<http://www.kobe-u.ac.jp/kobekirin/corporation.htm>

神戸大学基金推進室
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
TEL 078-803-5414

FAX 078-803-5024
E-Mail: kikin@office.kobe-u.ac.jp

お知らせ
寄附者のみならず！
一言メッセージをお寄せください
神戸大学基金にご寄附いただいたみなさんにお願ひします。あなたの寄附行為の動機や、神戸大学への期待など、神戸大学基金をサポートする一言メッセージ(最大31文字程度)を左記メールアドレスまでお寄せください。紙面の許す限り掲載していきます。

E-Mail: kikin@office.kobe-u.ac.jp

「神戸大学とわたし」一言メッセージ集

■寄附者名称奨学金(創設奨学金)奨学生からのメッセージ
・支援の恩返しとして、将来の社会に貢献できるようがんばりたいです。(工学部・3年)

・大変感謝しています。将来は必ず社会に貢献したいと思えます。(工学部・3年)

・次は、私達が向上心に富む後輩を奨学金で支援する側になりたい。(工学部・4年)

・奨学金のおかげで自分の将来へ大きく投資することができました。(工学部・3年)

・神戸や神戸の人は自分の見守り者という存在にない。 (留学生/経営学研究所・修士2年)

・生活だけではなく、私の心も支えられています。(留学生/経営学研究所・修士2年)

・私はフジック株式会社の奨学金を支給していただきました。感謝申し上げます。(留学生/国際協力研究所・修士2年)

神戸大学は、明治35年(1902年)の創立以来、開放的で国際性に富む固有の文化の下、「真摯・自由・協同」の精神を理念とし、社会に貢献する人間性豊かな指導的人材の育成と、普遍的価値を有する「知」の創造拠点としての教育・研究機関たることを目指してきました。

● 今、20世紀都市文明からの転換が激しく迫られる中で、大学にはその創造力を発揮して新しい21世紀文明構築のさきがけとなることが求められています。「神戸大学ビジョン2015」は、その第一歩として、「世界トップクラスの教育・研究」・「卓越した社会貢献・大学経営」の実現を目指しています。

● 「神戸大学基金」は、ビジョンの実現を加速するためのターボ装置です。ターボの力をより強力なものとするためには、神戸大学が社会により深く根を張り、そこからの支持と支援を拡大することが不可欠となっています。

● 本誌「神戸大学とわたし」Across the Boundariesは、神戸大学と社会の接点に取材し、ビジョンを先取りする取り組みを可視化することで、社会貢献の促進とビジョンの早期実現に資することを目的として発行されました。読者の皆様の忌憚のないご意見をお待ちしています。

● 2010年1月1日
※表紙題字下の「メタモルフオーゼ」は、生物学でいう「変態・変身」の意。本誌は神戸大学が21世紀に飛躍する様を追いかけます。

神戸大学 東京オフィスにようこそ。

卒業生のネットワーク作りの場所として……、全国で活躍されている卒業生とのネットワークの拠点として……
母校へのコンタクト及び利用されたい方、全国で活躍されている卒業生の東京での憩いの場所として……
神戸大学についてお知りになりたい方、その他、お気軽にご訪問・ご利用ください。



〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1 (帝国劇場ビル地下1階)
Tel: 03-6269-9130 Fax: 03-3214-4227
E-mail: tokyo-office@org.kobe-u.ac.jp
<http://www.kobe-u.ac.jp/info/tokyo-office/>
開所時間：月～金 9：00 - 19：00 (土日祝日を除く)

- JR 山手線有楽町駅より徒歩 3 分
- 都営三田線日比谷駅より徒歩 1 分
- 東京メトロ有楽町線有楽町駅より徒歩 1 分
- 東京メトロ千代田線日比谷駅より徒歩 3 分

※東京オフィスの運営には、皆様のご支援による「神戸大学基金」の一部が活用されています。



*Toward Global Excellence
in Research and Education*